

逗子市議会議員

さぎさか ゆうじ 活動レポート vol.19

～無所属で活動中～



■さぎさか ゆうじ(句坂祐二) プロフィール■

1970年2月14日生まれ A型 45歳 逗子市沼間1-8-2

沼間小学校卒業・逗子中学校卒業・私立横浜商工高等学校卒業(有)句坂豊店入社
07年逗子市商工会青年部部長・08,09年沼間小PTA会長、08年逗子市PTA連絡協議会会長・神奈川県PTA協議会常任理事・10年(社)逗子葉山青年会議所理事長
家族構成: 妻と長女(高校2年)次女(小学5年)長男(小学3年) 2010年3月に行われた、市議会議員選挙にて初当選 議会報編集委員長、基地対策特別委員長
総務常任委員会委員長、現在、2期目 都市計画審議会委員 所属党派 市政クラブ

27年度第2回定例会報告

第2回定例会が6月4日～19日に行われました。

今定例会では、平成27年度の一般会計補正予算及び条例改正等の議案が審議されました。補正予算では、まち・ひと・しごと創生法に定めるまち・ひと・しごとの創生を推進する目的で、総合戦略と人口ビジョンを策定するための経費、公民館からコミュニティセンターに転用し、地域活動の拠点として運用するにあたり、施設のバリアフリー化の改修工事費用、高齢者福祉施設の整備に係る経費の一部を補助するための費用、教育研究所を逗子会館に一時移転するための改修費等、計11件すべて可決承認されました。その他の主な議案では、逗子市個人情報保護条例の一部改正について(可決)、逗子市職員給料条例の一部改正について(可決)、逗子市職員の退職手当に関する条例の一部改正について(可決)、逗子市介護保険条例の一部改正について(可決)、逗子市青少年会館条例の廃止について(可決)されました。その他、請願1件、陳情16件が審議されました。

グリーンヒル奥の森林における空気銃ゲーム場整備について 法の厳格な運用を求める意見書を全会一致可決

今定例会に、グリーンヒル奥の森林における「空気銃ゲーム場整備」について調査等を求める陳情が提出されました。グリーンヒルのつばき公園脇の市道からアプローチする森林(沼間5丁目917-1及び他8筆)約2.1haにおいて、昨年10月頃より事業者が出入りし、エアシューティング場の開園の整備を行っており、周辺住民に対し、5月25日から利用を開始する旨、通告してきています。当該森林に至る市道には、車両通行止めの柵が設置されており、事業者は山林の維持管理との申告により、市から鍵を貸与されているが、実際は、エアシューティング場の整備工事であり、市街化調整区域である当該地において、森林伐採、土砂の搬入等を行っている。また、当該地には便所が1ヶ所設置されており、この施設がエアシューティング場のために設置されているとしたら同施設は違法建築物に当たるものとも考えられます。神奈川県に法の厳格な運用を徹底し、事業者に対して、必要に応じて適切な措置を講じるように要望する意見書を全会一致で可決しました。



小児医療費助成 小学6年生まで拡充

子育て支援で市民ニーズが高い、小児医療費助成が、昨年の7月から小3までになりました。平成26年度第3回定例会で、市長に対し、市議会は、小児医療費助成制度の拡充を求める決議を全会一致で可決しました。近隣他市の多くの自治体が、小6や中3まで拡充をされています。「子育てしたいまち」を目指す本市においても、当然に拡充すべきと考えていました。子育て世代にとって、子どもの医療費負担の軽減は切実な願いであり、子どもたちが健やかに育つために必要な助成制度です。**[10月1日から小6まで拡充]**



市営住宅の空き駐車場の活用 進捗状況

沼間南台市営住宅の空き駐車場の活用については、市民からの要望や行財政改革の観点からも数年前から市に求めてきました。現在約25台以上の空き駐車場があります。市は駐車場部分の用途廃止の建築基準法上の確認、入居者の駐車場を移設する際の車庫証明変更に関する警察との調整、さらに入居者へのアンケート調査の実施をしました。今後、用途廃止の際の国との調整、貸し出し場所の選定、入居者との調整、条例改正等、活用に向けて進めています。



行財政改革を徹底し事業の効率化・コスト削減を図れ！ ～持続可能な社会をつくる～

近年、本市の人口は約58,000人程度の横ばいで推移してきましたが、高齢化率は30%を超え、人口も2009年をピークに減少傾向となり、推計では25年後の2040年には約1万人減の47,856人、高齢化率は44.1%と予測されています。また、個人市民税が歳入の4分の1を占める本市においては、生産年齢人口の減少に伴い、市税収入も年々減少することが見込まれます。今後、本市にとって最大の課題となるのは「人口減少と少子高齢化を乗り越える持続可能な社会」をいかにして築くか、であると考えます。地域力の向上による市民自治・市民協働の進展を図り、逗子の魅力をより一層高める戦略的な施策を強化して、少子高齢化を乗り越える社会基盤を構築する重要な時であると言えます。今後、市民ニーズに対応した新たな事業を展開していくためには、引き続き行財政改革を徹底して推進し、既存事業の見直し等、一層の効率化を図ることが重要です。今定例会において、私は、行財政改革の観点から、逗子文化プラザホール、学校開放施設、市営住宅の空き駐車場の活用などの一般質問を行いました。



逗子市の広報キャラクター「シズオ君」

皆様の声を聞かせて下さい。市政に対するご意見、ご要望をお待ちしています。

御名前

御住所

連絡先